

令和5年度 大野小学校前期評価

令和5年9月

○保護者・地域の皆様へ
 学校評価へのご理解・ご協力、ありがとうございます。前期集計結果が整いましたのでご報告いたします。今後、学校運営に反映させ、学校教育目標「みんなで作る幸せな学校」の実現を目指していきたいと考えております。結果を踏まえた、学校の取組や方針も掲載しましたので、今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。市川市全体の回答も記載し、比較できるようにしてあります。

○2段階評価について

肯定する・・・4「そう思う」、3「ややそう思う」を合わせた数値（%）

肯定ではない・・・2「あまりそう思わない」、1「そう思わない」を合わせた数値（%）

○比較について

上段・・・昨年度の後期と比較して、3%以上の増は○、減は▼とし、3%未満の変化は、－としています。

下段・・・今年度の市川市前期評価と本校の前期評価を比較しています。（○ ▼ －は同じ）

I 確かな学力

1 学校の勉強がよく分かりますか。（と言っている）

児童	肯定する（%）	肯定ではない（%）	比較
R3・後	92	8	—
R4・前	92	8	
R4・後	89	11	
R5・前	89	11	

保護者	肯定する（%）	肯定ではない（%）	比較
R3・後	84	16	○
R4・前	85	15	
R4・後	79	21	
R5・前	86	14	
市川市全体	87	13	—

○児童からの肯定的な回答は9割前後で推移しており、保護者からの肯定的評価も市川市全体平均に近い値を示しています。昨年度保護者評価は前期から後期で6%の低下となっているので、前期の数値が維持できるよう、引き続き授業改善に努めていきます。日頃の学習について、気になることがございましたら、担任等へご連絡ご相談いただければと思います。

2 わからないことを調べるのが好きですか。（興味を持って学習に取り組んでいる）

児童	肯定する（%）	肯定ではない（%）	比較
R3・後	77	23	○
R4・前	80	20	
R4・後	72	28	
R5・前	75	25	

保護者	肯定する（%）	肯定ではない（%）	比較
R3・後	63	37	—
R4・前	63	37	
R4・後	59	41	
R5・前	61	39	
市川市全体	64	36	▼

○昨年度後期より肯定評価は増えていますが、昨年度児童評価は前期から後期で8%減となり、本校の課題と考えています。一人一台端末を用いて、児童が主体的に学習に取り組む課題を設定することが大切と考え、今年度の本校の研究テーマを「情報活用能力の育成」としました。授業改善には家庭や地域との連携が必要と考えております。引き続きのご協力をお願いいたします。

3 本を読むことが好きですか。

児童	肯定する（%）	肯定ではない（%）	比較
			—
R5・前	80	20	

○昨年度までは「授業中によく発表しますか。」と聞いていました（肯定57%、否定43%）が、発表については本人の性格もあり、一人一台端末による学習では、すべての児童の意見を集約できるようになっているため、設問を変えました。2割の児童が読書を好んでいないことを重く受け止め、2学期以降、本に親しむ機会を増やしていきます。

4 毎日家庭学習に取り組んでいますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	77	23	○
R4・前	86	14	
R4・後	82	18	
R5・前	88	12	

家庭学習の習慣が身についていますか

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	73	27	-
R4・前	72	28	
R4・後	67	33	
R5・前	65	35	
市川市全体	73	27	▼

○保護者評価が年々数値減少の傾向にあります。家庭で読書をしたり、自ら調べたことを実践したりすることも立派な家庭学習です。やらされる「勉強」から、自ら取り組む「学習」へ意識を変容させることが小学校期は大切になります。学校も自学の力を高める家庭学習を引き続き考えていきますので、ご家庭でもお子様の興味関心を高める家庭学習について、話し合いの場をもっていただければと思います。

II 豊かな心

1 気持ちのよい挨拶をしていますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	86	14	▼
R4・前	87	13	
R4・後	87	13	
R5・前	83	17	

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	78	22	○
R4・前	79	21	
R4・後	73	27	
R5・前	76	24	
市川市全体	76	24	-

○気持ちのよい挨拶は、生徒指導目標の一つとして年間を通して取り組んでいます。今回は、昨年度後期評価より保護者は向上、児童は減少となりました。挨拶の声が響く大野の町になるよう、引き続き大人が手本を示し、子どもたちの素直な気持ちを育てていきましょう。学校では道徳科や特別活動の時間を通して、挨拶の大切さや意義について考えていきます。

2 係や委員会などの活動に責任を持って取り組んでいますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	87	13	○
R4・前	93	7	
R4・後	88	12	
R5・前	92	8	

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	87	13	-
R4・前	86	14	
R4・後	85	15	
R5・前	86	14	
市川市全体	87	13	-

○コロナ禍による制限も減り、今年度は縦割り活動を復活させました。児童会の提案により、1年生から6年生の混合グループで遊ぶ「大野っ子タイム」も充実してきています。お子様が学級で何係でどのような活動をしているか、どんなクラブ活動や委員会に所属しているか、ご存じでしょうか。保護者や地域の方からの応援は児童の励みとなり、豊かな心を育てる重要な手立てとなります。ご協力をよろしくお願いいたします。

3 誰とでも仲良くすることができますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	83	17	-
R4・前	88	12	
R4・後	88	12	
R5・前	87	13	

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	94	6	-
R4・前	94	6	
R4・後	93	7	
R5・前	94	6	
市川市全体	93	7	-

○例年、9月から12月は児童が子どもなりの心の葛藤や悩みを感じる時期で、前期と後期で数値に差が出るのはその影響が大きいと推察されます。この設問への評価は児童も保護者も安定した高い数値を保っていることをうれしく思いました。引き続き、家庭や地域や学校の大人が子どもたちに寄り添っていくことで児童の不安やストレス要因を解消していきましょう。

4 自分にはよいところがあると思いますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
			—
R5・前	82	18	

○昨年度までは「大人に対する言葉遣いに気をつけていますか」と聞いていました（肯定89%、否定11%）が、児童が主体性を発揮するために必要な自己肯定感について尋ねる設問に変更しました。令和5年度全国学力・学習状況調査の結果（第6学年対象）によると同設問に対する全国平均は肯定83.5%でしたので、更に向上させるよう努めていきます。

5 困った時に相談できる先生が、大野小学校の中にいますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
			—
R5・前	80	20	

○昨年度までは「困ったことがあった時には先生に相談することができますか」と聞いていました（肯定67%、否定33%）が相談対象の有無が大切と考え、設問を変更しました。その結果、2割の児童が肯定的でない回答をしています。本校の最優先課題の一つと捉え、引き続き、学校全体の教職員が児童との信頼関係を築くと共に、相談体制を整えるよう努めていきます。

6 あなたは大野小学校が好きですか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
			—
R5・前	89	11	

○昨年度までは「あなたは楽しく学校に通っていますか」と聞いていました（肯定86%、否定14%）が、直接本校への思いを聞く設問に変更しました。肯定100%を目指すべき設問ですので、引き続き、児童一人ひとりを注視し、楽しく学校生活を過ごすことのできるよう教職員全体で支援してまいります。子どもたちの言動で気になることがありましたら担任等へ連絡をお願いいたします。

Ⅲ 健やかな体

1 外で遊ぶなどして、進んで体を動かしていますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
			—
R5・前	77	23	

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	72	28	○
R4・前	73	27	
R4・後	66	34	
R5・前	79	21	
市川市全体	77	23	—

○昨年度までは「運動や体を動かす遊びは好きですか」と聞いていました（肯定86%、否定14%）が、保護者への設問と内容を揃え、実際に外で遊んでいるかを尋ねることにしました。コロナ禍による運動制限はほぼなくなりましたので、体育科の学習では、活動量を確保することで、体を動かす喜びを児童が感じるようにしています。放課後の外遊びについては、ご家庭からの積極的な声かけをお願いします。

2 けがや事故にあわないように安全に気を付けていますか。

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	93	7	○
R4・前	94	6	
R4・後	92	8	
R4・後	94	6	

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	90	10	-
R4・前	91	9	
R4・後	90	10	
R5・前	88	12	
市川市全体	89	11	-

○学校やご家庭での指導の他、地域の方々の見守りのおかげで安全は保たれていますが、危険を回避できる力はすべての教育活動を通して子ども達に身につけさせたいと思います。自転車使用に際してはヘルメットの着用が推奨されています。交通マナーや自転車の安全な乗り方については、日々の生活の中で注意喚起をお願いいたします。

3 早ね早起きをしていますか。（規則正しい生活習慣が身についている）

児童	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	72	28	○
R4・前	75	25	
R4・後	71	29	
R4・後	86	14	

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	81	17	-
R4・前	82	18	
R4・後	81	19	
R5・前	83	17	
市川市全体	85	15	-

○暑い日が続く、健康への関心が高まったからか、児童評価がかなり向上しました。規則正しい生活習慣は、児童の健やかな成長に欠かせません。学校でも引き続き指導を重ねていきますので、ご家庭でも日々の生活習慣を定期的に戻り、必要に応じて改善をお願いいたします。

Ⅶ 信頼される学校

1 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるように努めている。

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	87	13	○
R4・前	88	12	
R4・後	82	18	
R5・前	90	10	
市川市全体	88	12	-

○市川市全体より高い評価をいただき、感謝いたします。昨年度は前期と後期で評価6%が下がってしまった設問なので、今後も学校だより、HPを中心に学校での取組がより一層理解していただけるよう努力してまいります。家庭や地域の代表者で学校の運営について定期的に話し合う学校運営協議会は事前に連絡いただければ傍聴することができますので、よろしければ積極的に申込みをしてください。

2 学校は、保護者や地域の方々とともに子どもを育てる取組を進めている。

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	87	13	○
R4・前	89	11	
R4・後	86	14	
R5・前	89	11	
市川市全体	88	12	-

○地域の方々が関わりながら、教育活動を進めているのが本校の特色です。今年度は学校教育目標を「みんなでつくる幸せな学校」とし、保護者・地域との連携を図り、地域に開かれた学校を目指しています。保護者や地域の方のボランティアも随時募集しています。みんなの力で大野っ子を育てていきましょう。

3 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	86	14	—
R4・前	85	15	
R4・後	86	14	
R5・前	87	13	
市川市全体	88	12	—

○保護者の思いや願いを真摯に受け止め、教職員が一丸となり、教育活動を進めているつもりではありますが、市川市平均には及びませんでした。これまで学校が抱えてきた教育活動を見直し、推進している教職員の働き方改革と保護者の思いや願いへの対応の両立は本校に限らず、すべての学校の課題です。保護者や地域からの声も課題解決への手立てになりますので、気になることは遠慮なさらず、担任等に相談してください。

4 学校は、特色ある取組や教育を進めている。

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	74	26	○
R4・前	76	24	
R4・後	71	29	
R5・前	76	24	
市川市全体	77	23	—

○今年度は市川市より「GIGAスクール推進校」の指定を受けて、教育活動に取り組んでいます。なお、本校の昨年度の教育活動が公益財団法人パナソニック教育財団に認められ、今年度は国内22校が該当する助成校となりました。10月開催の「かけこみ110番ウォークラリー」は某教育誌の表紙で紹介された本校独自の取組です。引き続き、教育活動を充実させていきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

5 学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。

保護者	肯定する (%)	肯定ではない (%)	比較
R3・後	77	23	○
R4・前	76	24	
R4・後	75	25	
R5・前	79	21	
市川市全体	80	20	—

○学校では、各担任を中心に一人一人の児童に対し、適切な指導や支援を心がけておりますが、至らない点もあるかと思えます。本設問も肯定的回答が100%になるよう努めていきますので、気になることは、遠慮せず、担任等に伝えてください。地域や保護者の声を日々の改善につなげていきたいと思えます。

【自由記述欄から】

本校の教育活動に対しての肯定的なコメントを多数寄せていただき、感謝いたします。
ここでは、本校の教育課程に関わる内容で同意見が複数あったものについて記載します。個別の案件については、本年度後期及び次年度の教育活動への参考とさせていただきます。
なお、内容が継続している案件については担任、管理職等に直接ご相談ください。

○スポーツフェスティバル（運動会）について

→1日開催を望む声（4名）、紅白リレーや応援団の削減を惜しむ声（3名）がありました。スポーツフェスティバルは体育科学習の1つで、本校の目的は「集団生活の中での規律、公正、自信などの心や態度を養う」「健康と体力向上への関心を高める」「児童が主体的に活動することにより、自主性、計画性、創造性を伸ばす」の3つです。目的と照らし合わせ、競技種目を決めますが、在籍児童数等により内容は随時見直しますので、いただいたご意見は次年度計画作成時に検討させていただきます。

○学習参観日について

→学年別に開催してほしい（2名）、仕事のシフトの関係で月の初めや月末は避けてほしいとの意見（1名）がありました。次年度の年間予定を作成する際に検討させていただきます。

○タブレットの使用について

→授業中にゲームをしている児童がいる（1名）、重たいので持ち帰りが大変との声（2名）がありました。目的外の使用はいけないことなので指導をしていきますが、持ち帰りについては、タブレットは教科書やノートと同じ学習用具と考えていますので、2年生以上は引き続きの対応をお願いいたします。ただし、本校は、教科書やノートも毎日すべてを持ち帰ることにはなっておりません。お子様の体格や体調によっても負担感は異なると思いますので、必要に応じ、担任にご相談いただければ対応させていただきます。

○護身術や空手等を児童に教えてほしい（2名）。

→護身術や空手は学習指導要領上、児童に学ばせる内容となっていないため、実施は難しいですが、安全教育は積極的に推進するようにいたします。